



第 303 号(令和5年(2023 年)6月 22 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

6 月 3 週は、3 件の遭難が発生しました。

赤岳の遭難は、長時間行動したため、当日のうちに目的地に到着することができず、疲労による行動不能として日没間際に救助要請がありました。しかし、当日の救助はリスクの高い夜間行動となってしまうため、翌日早朝からの救助活動となった事案です。救助隊が到着するまで、遭難者はその場でビバークをしていました。

疲労による遭難は、自身の体力と経験を踏まえ、事前に余裕を持った登山計画を立てることで防ぐことができますし、行動中にこまめに自身の体調を確認するとともに、ペースが上がらなかつたり、予想以上に時間がかかるようであれば、途中で引き返す判断も必要です。

万一遭難した場合には、救助要請をしても天候や時間等によっては、救助隊が現場に到着するまでに時間を要することもありますので、最低限のビバーク装備(ツェルト、非常食・飲料、防寒着)を携行しましょう。


また、残雪上での滑落遭難も発生しました。標高の高い山域ではまだまだ雪の残った場所があり、転倒や滑落に備えたアイゼン・ピッケルの着装と、ヘルメットの着用が必要です。登山計画の際には、行き先の山域やルート of 最新情報を確認するとともに、自身や仲間の技量に見合った山域を選びましょう。

県内は梅雨により、不安定な天候が続いています。この時期は、湿度が高く、雨や汗により体が濡れても乾かず、体温とともに体力も奪われやすいです。さらに、登山道が濡れていることで、足下に注意して歩行しなければならないため、晴天時よりも集中力・体力がより必要となってきます。

行動中は、こまめに休憩を取り、水分補給・エネルギー補給を行い、濡れた服のまま行動するのではなく着替えをするなどして、体温や体力が奪われないようにしましょう。

登山や山菜採りを計画されている方は、事前に天気予報を確認し、悪天候の場合は中止や延期する判断をお願いします。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
6月15日	八ヶ岳連峰 赤岳	女	45	無事救出	疲労	2人パーティで観音平口から赤岳に向けて縦走中、疲労により行動不能
		女	17	無事救出	疲労	
<p>15日、2人パーティで八ヶ岳連峰赤岳に観音平口から入山した女性2人(45歳、17歳)が縦走中疲労のため、行動不能となる山岳遭難が発生して、16日、山岳安全対策課及び茅野警察署山岳遭難救助隊員が発見・救助して、同行下山しました。</p>						
6月17日	八ヶ岳連峰 蓼科山	女	34	無事救出	発病	3人パーティで山頂から下山中、発病
<p>17日、3人パーティで八ヶ岳連峰蓼科山に入山した女性(34歳)が、山頂から下山中、発病・体調不良により行動不能となる山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。</p>						
6月18日	北アルプス スバリ岳	男	63	負傷	滑落	2人パーティでスバリ岳に向けて登山中、スリップし滑落、負傷
<p>18日、2人パーティで、北アルプス針ノ木岳に入山した男性(63歳)が、スバリ岳に向けて登山中にスリップして滑落し、負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。</p>						

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日~6月18日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	93	13	4	47	48	112	64
内)単独登山	34	5	1	12	16	34	18
内)山菜採り	3		1	1	1	3	2
令和4年(2022年)	86	14	1	41	41	97	56
前年同期比	+7	-1	+3	+6	+7	+15	+8
内)単独登山	+4	±0	±0	+3	+1	+4	+3
内)山菜採り	-3	-1	+1	+1	-4	-3	+1

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～6月18日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	12	12.9%	4	0	5	5	14
	後立山	15	16.1%	3	2	12	3	20
	その他	9	9.7%	1	0	2	8	11
	計	36	38.7%	8	2	19	16	45
中央アルプス	6	6.5%	0	0	5	4	9	
南アルプス	2	2.2%	1	0	0	2	3	
八ヶ岳連峰	25	26.9%	2	0	12	15	29	
その他の山岳	24	25.8%	2	2	11	11	26	
計	93		13	4	47	48	112	

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～6月18日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	34	36.6%	6	0	30	0	36
転倒	13	14.0%	0	0	13	0	13
病気	5	5.4%	1	0	0	4	5
道迷い	14	15.1%	0	0	0	17	17
落石	2	2.2%	1	0	1	0	2
雪崩	3	3.2%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	7	7.5%	1	0	0	10	11
不明・他	15	16.1%	1	4	1	16	22
計	93		13	4	47	48	112

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～6月18日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	2	2	30 36.6%	0	0	0	2	2	11 36.7%	4	41 36.6%
20代	0	0	5	8	13		0	0	3	2	5		18	
30代	3	2	7	3	15		1	0	0	3	4		19	
40代	2	1	4	6	13	26 31.7%	0	0	3	5	8	14 46.7%	21	40 35.7%
50代	3	0	7	3	13		0	0	4	2	6		19	
60代	1	0	8	7	16	26 31.7%	0	0	1	1	2	5 16.7%	18	31 27.7%
70以上	3	1	3	3	10		0	0	2	1	3		13	
計	12	4	34	32	82		1	0	13	16	30		112	
比率	73.2%						26.8%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝